

東京YMCA高等学院 on-line講演会

合理的配慮の実際ってどうなってるの？ ～申請から実施までの流れ～

2016年に学校現場では国公立で合理的配慮の提供が義務化され、私立学校においても努力義務となっていました。今年の6月には法改正が行われ、今後は私立学校においても合理的配慮の提供が義務化となってきます。多様な学び方を選んでいくことがスタンダードになる世の中において、実際にどのようなことを合理的配慮として求めていけるのか、どのような手続きで進めていけば良いのでしょうか。そうした実際的なお話を、合理的配慮の申請業務に携わっておられる早稲田大学の吉野先生から、事例を交えてお話を伺っていきます。

とき **2021年12月4日（土）**

13：30～15：30

参加費 **無料**

方法 Zoomを利用して配信いたします。
※お申込者名と、当日のZoomの表示名は同じにさせていただきますようお願いいたします。

申込 QRコードまたはURLより、Googleフォームに必要事項をご入力いただき、お申込みください。
お申込み後、ID・パスコードをメールにてお送りいたします。
締切：12月2日（木）

<https://forms.gle/xphuDtujqEE4hjkA8>

Googleフォームからご入力できない場合は、メールにて「お名前」「講演会を知ったきっかけ」「当日質問したいこと」の3点をお知らせください。
メールアドレス：highschool@tokyoymca.org

講師：吉野智子氏



早稲田大学障がい学生支援室発達障がい学生支援部門にてコーディネーター職として勤務。これまで長らく療育機関において発達障害のある子どもたちへのSST指導に従事。その後大学にうつり、初めは教員職として勤務、その後職員職に転向し、7年ほど前よりコーディネーターとして障害学生支援に携わるように。現在に至る。

